

[008] 中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/9877>

出版情報：中国文学論集. 8, 1979-09-30. 九州大学中国文学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

中國文學論集第八號をお届けします。今號より御覽の通りに紙面を刷新し、全面的に舊漢字を採用致しました。中國古典を研究對象に含める學術誌としてふさわしい體裁をもちえたと思えます。又、紙面も従來の二段組から一段通しに改組しましたので、ぐんと見やすくなったと自賛致しております。ともあれ、これを機に、本論集も質量共に更なる發展を遂げるべく、編集子も誓いを新たにしているところです。會員諸兄の御指導と御鞭撻とを今後共よろしく願います。

ところで、今回も新進の學徒の論文が多くよせられました。これらの多くは、本會の機關研究會である文藝座談會での研究發表を踏台にして、日夜の研讀の成果をまとめあげたものであります。最近、本會の會員の中から秋吉久紀夫著『近代中國文學運動の研究』（九州大學出版會刊）・林田愼之助著『中國中世文學評論史』（創文社刊）という二大論著が相次いで公刊され、學會の大きな反響を呼んでおります。また、書評に取りあげました近藤春雄先生も、本論集の前身である「文藝座談會ノート」以來から本會に關係の深い先生であります。このたび『唐代小説の研究』（笠間書院刊）・『中國學藝大事典』（大修館書店刊）という二大編著を相次いで公刊され、學界に貢獻するところ實に大きいものがあります。編集子も含めた若輩の學徒は、このようなすばらしい先輩に恵まれた學問的環境の中で、著者長年の研讀の成果であるこのような論著を新たな刺戟劑として一層の奮起を決意するところがあります。何分至らぬ所も多いかと存じますので、學界諸賢の忌憚ない御叱正を切望致します。

（竹村則行記）